# くにみ

【第129号】
昭和43年6月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 国見印刷所

## 選びぬけ悔いなく6年まかす人

## 有権者・政党・候補者に訴える

### よく見よく知りよく考えて 必ず投票しましょう

日米安全保障条約をめぐる問題が今回の選挙の最大な争点となって浮び上って来た。条約の存続を主張するのと、その廃棄を主張するのと政党の政策がまさに正反対に対立しており、日本の安全をどうして守るかについて今や国民の関心が日に日に高まりつつある。

このほかこの選挙で争われる政策として沖縄復帰、ベトナム和平、中国との関係の改善国際通貨不安の対策、国内の物価安定などの諸問題がある。

これらの重大な案件を多くかかえた今回の選挙に、国民の関心が高まり来ったことはむしろ当然である。

われわれ有権者は先ずこぞって投票に参加する決意を固めるべきである。そして今から各政党や議員候補者の政策や主張を十分に検討して投票に臨む用意をすべきである。

同時に、政党や議員候補者の言動に注目し、いやしくも物や金、情実や因縁で投票に圧力を加える行動があれば、断固として拒否する勇気が必要である。

各政党は、激動する国際情勢に対処すべき日米安全保障条約などの問題をはじめ、国民生活に直結する諸問題につき、その政見政策を、具体的に、判り易く国民に説明すべきである。このため進んで場を求め機会を作り、言論や文書をもって堂々と訴えてもらいたい。

議員候補者及びその運動者もまた、限られた選挙運動期間を十分に活用して、有権者に自己の主張を具体的に且つ明確平明に説きあかす、多くの機会を作ってほしいものである。

また、あくまで言論文書による運動を主体とし、金のからない、きれいな選挙とすべきことを強く要請したい。

投票期のせまるにつれ、外道に走る運動が過去に見られたが、候補者及び運動総括者に十分な配慮を望んでやまない。

選挙する者も、また政党も候補者も、悔いのない後味のよい行動をして、この選挙を明るい、きれいなものにすることを何よりも期待したい。

われわれ有権者は、投票をもってすべてを終りとということでなしに、投票後も議員と政党の行動を見守るよう今から考えよう。議員及び政党は選挙後といえども有権者と接触する場を多くつくり、国民の願望に耳を傾けてもらいたい。

明るく正しい選挙推進機関紙「私たちの広場」より

全推協

## ……(お礼)……

### 知事選挙で二重の表彰

去る四月二十五日行われた県知事選挙に優秀な成績を収めたわが国見町では、このほど県の選挙管理委員会と福島民友新聞社とから表彰を受けました。この二重の光栄に浴することができましたのも、関係諸団体並に有権者各位の御協力によるものでありまして厚く御礼申し上げます。

七月七日には参議院議員の選挙が行われます。なお一そうの御協力をお願いいたします。

国見町選挙管理委員会

## 部落ぐるみで啓発運動

八五・三三、管内一の成績をあげ、両手に花の表彰を受ける に至った原因はいろいろ考えられるが、何といっても最大の原動力は、各部落こぞって啓発運動に努めたことにあると思う。

別表のように平均以上の点をあげた部落が三〇もあり、棄権僅か二票の鶉町・築館有権者二〇〇以上の大部落でありながら九〇点以上をあげた大木戸・山根、八五点以上の川内・宮町北・源宗山・貝田・徳江北部、或は多少小規模ながらもよく九〇点以上を確保した鳥取・小坂・泉田下・原町・並柳・北部・第一一などその方部の成績に大きく貢献している。

こうした高い投票率を示した部落の多い反面、県の平均七八%にも達しなかった部落が七つもあった。これらは、単に有権者の多少とか、投票所への遠近、老人や病人出稼ぎ人の多少ということよりも政治への関心、選挙への熱意というようなものが大きくものを言っているのではあるまいか。

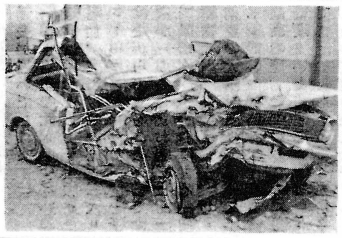
議会民主主義をたてまえとしているわが国では、やはり先ず投票するということが政治参加の第一義といわねばなるまい。

七月七日の参議院議員選挙戦はすでに開始されている。いろいろの意味をもつこの選挙には、よく見、よく知り、よく考えて必ず投票したいものである。

(鈴木)

部落別投票率表
(85%以上)

| 順位 | 部落名 | 投票率 |
|---|---|---|
| 1 | 鶉町 | 97 |
| 2 | 築館 | 96 |
| 3 | 原町 | 94 |
| 4 | 鳥取 | 92 |
| 〃 | 並柳 | 92 |
| 6 | 〃 第一 | 91 |
| 〃 | 大木戸 | 91 |
| 8 | 〃 山根 | 90 |
| 〃 | 〃 泉田下 | 90 |
| 〃 | 〃 北部 | 90 |
| 〃 | 〃 第一一 | 90 |
| 12 | 〃 第川内 | 89 |
| 〃 | 〃 第一〇 | 89 |
| 14 | 〃 〃 第七 | 88 |
| 〃 | 〃 大田川 | 88 |
| 17 | 〃 内町東 | 88 |
| 〃 | 〃 第東 | 88 |
| 〃 | 〃 第三 | 88 |
| 〃 | 〃 第四 | 88 |
| 〃 | 〃 中部 | 87 |
| 〃 | 〃 石母田表 | 87 |
| 〃 | 〃 内谷西 | 87 |
| 24 | 〃 宮町北 | 86 |
| 〃 | 〃 源宗山 | 86 |
| 〃 | 〃 泉田中 | 86 |
| 27 | 〃 貝田北 | 85 |
| 〃 | 〃 徳田 | 85 |
| 〃 | 〃 前山崎南 | 85 |



## ごあいさつ

私は、行政管理庁長官より行政相談委員を委嘱されております。

行政相談委員の仕事は、福島行政監察局で行っている行政相談の窓口として、役所の仕事についてお困りになっていること、納得がゆかないこと、希望すること等について相談を受付けることが主な役場であります。

私の受付ける範囲は、国や政府関係機関(公社、公庫、公団等)の業務または県市町村で行っている業務で国の委任、或は補助にかかる業務となっております。

が、民事関係の問題や警察で扱っている刑事々件を除けば大ていの場合は行政相談の対象となります。

相談は一切無料で秘密を守り、親身になって世話しますからどうぞお気軽にお申し出でください。

なお、この制度についておわかりにならない点がありましたならば、私にご連絡ください。くわしくご説明申し上げます。

行政相談委員 佐久間岩吉
住所国見町大字藤田字北
電話 藤田局二〇二番

## まちがいやすい印紙税

### うつかり脱税!!

印紙税のかかる文書で、まちがいやすい次のような文書取扱いに注意しましょう。うっかりして脱税などの汚名を受けないように気を付けましょう。

① 契約書の写しでも印紙税がかかる場合があります。不動産の売買契約書で契約者双方の署名なつ印があって原本と認められるものは単に「写し」の表示をしても「不動産などの譲渡に関する契約書」となる。

② はじめに不動産売買契約書を作り、登記の際に、さらに売渡証書を作った場合には、いずれも「不動産などの譲渡に関する契約書」となる。

③ 文書の標題がたとい念書又は覚え書となっていてもその内容により印紙税のかかる文書にあてはまる場合もある。

④ 借入金の受取書であっても、返済期限や利率などをあわせ書いていると、単なる受取書でなく「消費貸借に関する契約書」となる。

⑤ 土地賃貸借契約書および土地賃貸借証書などは「賃貸借などに関する契約書」でなく「地上権または土地の賃借権の設定または譲渡に関する契約書」となる。

⑥ はじめの請負金額を変更するための請負金変更契約書は「請負に関する契約書」となる。

以下略

(註)印紙をはり忘れた場合、または消印をしなかった場合には、はり足りない額の三倍に相当する額または消印してない額に相当する額の「過怠金」がかかります。

なお印紙税についてわからないことは、文書の「ひな型」をご持参のうえ、税務署へご相談ください。

(福島税務署)

## 油断大敵

ゆだんたいてき

心のすきに こっそりと
しのびよる 交通事故
ある日 あるとき 突然
このとおり

"おれだけは大じょうぶ"
それがあぶない。
運転者は運転に……
学童は学校に
馴れた頃が
いちばんあぶない。

"おれだけは大じょうぶ"
うちの子にかぎって……
油断大敵
物は金で買えるが
身体生命は
お金で買えない

## ぜったい出すまい 農薬事故

有機燐製剤、有機塩素製剤等劇毒物農薬の使用にあたっては、これ等の農薬に関する正しい知識を身につけて使用し、また本来の用途以外には絶対に使用しないよう、その取扱いに充分注意して下さい

農薬による中毒の主な原因および注意事項

一 中毒の主な原因は

(1) 散布中散布者本人の不注意によるものが多く、薬剤をうすめるときに素手で作業したり、散布途中でタバコをのんだり、散布後手をよく洗わないで食事をした人達が最も多い。

(2) 不健康状態で散布に従事し中毒した人も多い。これは病後の人、妊婦、睡眠不足の人、生理時の婦人等である。

(3) つぎに本人の服装が悪かったため中毒をおこしている。服装が悪いとは、丸首シャツに素手素足で散布に従事したり、マスクをせずに散布をしたりすることである。

(4) その他農薬に対する知識が中途半端で、その取扱いを粗雑にしたり、炎天下長時間散布作業に従事した人達である。

二 注意事項

(1) 農薬散布にあたってはまず服装をととのえ、必ずゴム手袋、マスク等をし、その取扱いは慎重に行ない不健康な人、著しく疲労している人などは、散布作業に従事しないこと。

(2) 散布作業は朝夕の涼しい時間を選んで行ない、二〜三時間で交替すること。

(3) 作業後は、手足はもちろん、全身を石けんでよく洗い、衣服は毎日取り替えること。

(4) 作業後、酒をのんだり、夜ふかしをしないこと。

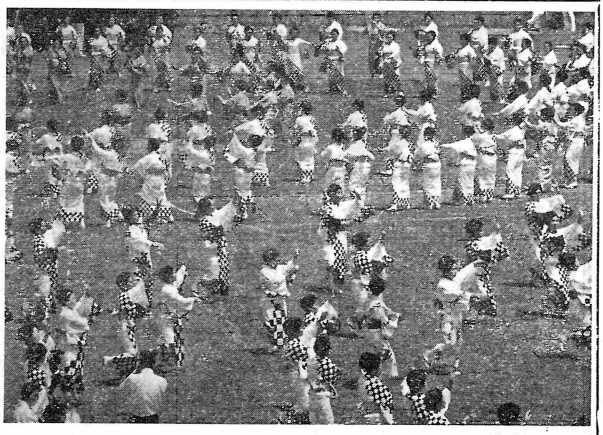
(5) めまいがしたり、頭痛がしたり、気分が少しでも悪くなったら医師の診断を受けること。

◎棄権して誰にまかせる国のかじ

◎二十才の自覚は選挙から

◎こちらからお願いしますという一票

◎はね返せ、義理・金・顔のかかりあい



## 第6回体力づくり全国大会に参加して

五月三十日、揃いのゆかたを着た私たち五十余名は、迎えのバスに乗って、県宮信夫が丘競技場に到着しました。第六回体力づくり全国大会に参加したのです。

芝生の緑がまだらなひろびろした競技場、全国大会にしてはすこし閑散だなと思いました。しかし、熱心にかけめぐって準備をしている役員方を見ると、何かすばらしい熱気を感じ、やはり来てよかったなアと思いながら、県北中学校の環境を思わせる福島三中の校庭に整列しました。

「行進の歩巾は七十センチ、一分間百四十歩……」

バスの中で聞いた桑折町婦人会長さんのことばを思い出しながらすこし練習してみました。

自衛隊の音楽隊と高校生のブラスバンドのマーチに合せての入場行進です。中学生、高校生、小学生、幼稚園児、明治大正昭和三代リレーの選手でしょう、かなりのおとしよりもまざっています。白グリーン、エビ茶のユニホームが緑のグラウンドにさわやかにはえる。中でも私たち県婦連八百名は、揃いのゆかたで、めったに着ない和服に大きなぞうりばき、とにかく一生けん命ついていきます。そのうちだんだん調子がよくなり、五月晴の青い空も一段とさわやかに感じました。

開会式です。メーンポールに国旗が掲揚され、木村知事が「日本の将来はすぐれた知識と健康なからだにかかっている……」とあいさつされたときは、ほんとにそうだなアと思いました。

午前十時、いよいよ記念行事です。早くいえば県民の運動会です。市内小学生男女生徒による県民の歌マスゲームのあと、幼稚園児とお母さんたちが手に手に小旗を持ってかわいらしい遊戯、見ていてもほほえましく、とても楽しそうです。できることならわたくしたちも「夢よ、もう一度」と苦労と後悔の多かった過去が思い出されます。

中学男生の元気いっぱいの騎馬戦、おとしよりを加えた明治、大正、昭和選手三代リレー「ガンバレ」の声援を受けながらのたるころがしです次が「ふくしまお国じまん」で県婦連八〇〇名による「会津磐梯山」「吾妻踊り」です初夏の太陽が照りつけるフイールドいっぱいに咲きほこる健康の花、この日のために農繁期もいとわずに練習したうでまえ、誰もがとても楽しく他郡、他町の人々といっしよになって踊りました。

「明治百年ていいものだア父ちゃんは田植で忙しいのに母ちゃんは運動会だア」

声のする方を見ると、腰の曲りかけた六十ぐらいの会員の方がこちらを見てにこにこしていました。婦人はとかく雑用に追われて休むひまがないといわれます。せっかくあたえられたこうした機会にはぜひ参加して、二度とかえらない現在の自分自身の年代をもっともっと大切に、精いっぱい羽ばたいて、悔をのこさぬようしたいものです。老化を防ぎ、若さを保って明日への活力にするために、自分自身で努力しましょう。スポーツは見ていても楽しいものですが、やはり参加してこそほんとうの楽しさが感じられます。

帰路一本のシャーベットに涼を求めながら、有意義だった半日をしずかにかみしめました。

（藤田婦人会角田記）

## よろしくお願いします

農業（生活）改良推進員
病害防除班長

農業の技術、経営および農家の生活改善を推進するための末端機関として設けられている農業（生活）改良推進員は任期が満了したので、このたびその交替があった。定員八二名のうち五〇名が再任、三二名が新任され、四月一日付をもって県及び町より委嘱状が交付された。その氏名は別表のとおりで、これらの人たちは、県事務所係員の指示をうけながら、それぞれの部落の改良事業の推進をするわけで今後の活躍が期待されるわけである。

尚農業改良推進員は病虫害防除班長も兼ね互に連絡をとりながら仕事を進めるため協議会をつくっているが、その役員は下記のとおりである。

会長　仲野周一
副会長　菊地善吾　八島アキ
地区分会役員
小坂　仲野周一　赤坂兼治
藤田　古内イチ
森江野　小西春男　中村一郎
大木戸　菊地セツ
大枝　菊地善吾　佐藤充作
佐藤トク
谷津一男　遠藤松雄
八島アキ
佐藤丈男　斎藤栄司
小林マサミ

### 農業改良推進員（病害虫防除班長）名簿

| 部落 | 氏名 | 部落 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 第三（南） | 大津昭一 | 小坂 | 斎藤実 |
| 〃（北） | 近野多 | 太田 | 安藤惣二 |
| 第四 | 佐藤富司 | 前田 | 朽木勝夫 |
| 徳江北（一） | 村上定衛 | 板橋 | 野村和夫 |
| 〃（二） | 佐藤善男 | 泉田 | 佐藤俊雄 |
| 第七 | 佐藤久作 | 泉田 | 仲野周一 |
| 第八 | 佐野充一 | 泉田 | 斎藤吉治 |
| 第九（西） | 徳江昭雄 | 鳥取 | 後藤与志男 |
| 〃（東） | 後藤年一 | 内谷 | 赤坂兼治 |
| 第十 | 菊地善吾 | 内谷 | 熊坂栄一 |
| 第十一 | 寺島吾 | 内同 | 古内吉蔵 |
| 第十二 | 菊地勇二 | 大町 | 小西英男 |
| 貝田（北） | 谷津光 | 大町 | 山田美津江 |
| 〃（中） | 吉田亀俊 | 本宮 | 秦精三 |
| 〃（南） | 斎藤国一 | 宮町 | 八島直喜 |
| 山根（北） | 斎藤英郎 | 宮町 | 佐藤拓三 |
| 〃（南） | 村上紹男 | 鶏町 | 中野祐輔 |
| 光明寺（北） | 星野勝男 | 滝川 | 武田徳治 |
| 〃（南） | 遠藤松雄 | 滑沢 | 田代弥一 |
| 大木戸（北） | 谷津一男 | 石母田 | 佐藤三雄 |
| 〃（南） | 松浦金男 | 〃 | 宍戸弥七 |
| 高城（北） | 八島藤市 | 〃 | 佐藤徳一郎 |
| 〃（南） | 八島一男 | 〃 | 菊地昭平 |
| 北部 | 佐藤丈郎 | 〃 | 斎藤勇五郎 |
| 中部 | 瀬戸田健治 | 山崎北（一） | 浅野武雄 |
| 原町 | 吉田彦衛 | 〃（二） | 菅野一英 |
| 築館 | 松浦幹男 | 山崎南（一） | 佐藤重郎 |
| 並柳 | 斎藤栄司 | 〃（二） | 中村一郎 |
| 川内（北） | 鈴木薫 | 第一（南） | 津田治 |
| 〃（南） | 鈴木徳治 | 〃（北） | 佐久間義夫 |
| | | 第二 | 佐久間隆俊 |

（計61名）

### 生活改推進員名簿

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小坂 | 佐藤キヨ | 徳江 | 佐藤クメ |
| 〃 | 安藤キヨ | 〃 | 蓬田トウ |
| 泉田 | 武田ヨシノ | 塚野目 | 佐久間いちミ |
| 泉内 | 古内イキ | 大木 | 村上トアキ |
| 鳥取 | 林ミク | 高城 | 八島アフキ |
| 藤田 | 奥山美津子 | 光明寺 | 渋谷ふさのフ |
| 〃 | 小野フチ | 貝田 | 岡田ふさカ |
| 石母田 | 菊地セマ | 西大枝 | 戸田ツミ |
| 〃 | 宍戸ツサ | 〃 | 小林マサツ |
| 山崎 | 高橋アツ | 川内 | 大浪ヨテ |
| 森山 | 佐藤ツル | | |

（計21名）

## 町社会福祉へ寄金

今回菊池喜重氏（山根部落）は、帰郷を機会に若き青少年当時大変村にお世話になったお礼の印にと金弐万円を町社会福祉事業の一端にと寄贈しいかれた。氏は明治三十九年、当時十六歳で開拓精神に燃え単身渡道して農業に従事し幾多の苦難を乗り越えて成功され現在札幌市郊外に大農場を経営し、今なをかくしゃくとして活躍されている。このうるわしい気持に深い感銘を受けて紙上を通じて厚くお礼を申上げる次第です。

（住民課）

## 民謡100曲を記念して

昭和三十九年十一月二十七日以来満三年六ケ月、私共が一生懸命努力した民謡の研究は遂に全国民謡百曲をマスターする事が出来た。自分乍ら実に驚くばかりである。吹雪の夜は寒稽古と称して頑張り盛夏は納涼として暑さを克服しひたすら続けた結果である自ら音痴と自負した人がかえって進境を見せたり、この間一日も休まぬ人が結果的には一番早く一人で唄える様になる。

それでも開設以来落伍せずに続けた人が五人もある。特筆したい事はお勤めをしながら稽古する若い人が次々と集る事で若い人には言うに云えない魅力がある。

扨て百回を記念するパーティーをこの程小坂峠の茶屋で愉快そのものの中で行うことが出来た、感慨無量である。

第二段階を迎えた我々の研究は次の三つの新しい目標を掲げる。

一、伴奏（尺八、三味線）を付けて本式に稽古すること。

二、稽古を二部制とし新曲の研究と共に新加入者の便宜を考えておさらい曲を練習すること。

三、会場は公民館とし練習日金曜を土曜日とする。

斯くて長生きが出来てその上健康な毎日を二倍も三倍も楽しく暮らせる民謡の研究に自ら音痴と自負した人が集って進境を見せたり、この間一日も休まぬ人が結果的には一番早く一人で唄える様になる。

## つどいの成果を生かそう

福島県青少年会くにみ会

昨年度、福島県青少年問題協議会では青少年対策室と共催で、県内青少年を対象に十回に分け、国立磐梯青年の家を会場とし、二泊三日の研修会を開いた。このつどいで、次代を担う若者として、何を考え、何をなすべきか、また地域社会においてどうあるべきかなどについて講師の話をきいたり、お互いに話し合ったりした青少年たちが、その友情を永く続けながら、つどいで得た知識を生かし、少しでも地域社会に役立たせるため、福島県青少年会をつくった。わが国見町から参加した十三名の男女青年も「くにみ会」というグループを組織し活動することになり、先日総会を開き、次のような役割を決め、会員の親睦を図るため七月下旬宮城県長老沼でキャンプをすることになった。

会長　後藤与志男
副会長　菊地　顕一
会計　佐竹　弘治
連絡員
渋谷節男（大木戸大枝）
佐藤且雄（藤田）
佐野　守（森江野）
後藤与志男（小坂）

## おめでとうございます

（五月中に出生届をされた方　敬称略す）

| 出生日 | 氏名 | 親の名 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 4、19 | 紺野裕幸 | 多賀雄の長男 | 藤田北二八 |
| 〃 21 | 穂苅美佳子 | 及郎の二女 | 藤田南三三 |
| 〃 23 | 菊地敏江 | 惣助の二女 | 塚野目林八 |
| 〃 24 | 佐久間智恵子 | 真一の長女 | 森山中島一〇 |
| 〃 29 | 髙原透 | 進の長男 | 小坂小坂四七 |
| 5、8 | 大村弘 | 計の長男 | 藤田日渡三二〇 |
| 〃 8 | 渡辺和巳 | 喜助の二男 | 泉田初量一〇 |
| 〃 10 | 由井淳也 | 順郎の長男 | 藤田南五 |
| 〃 10 | 谷地芳典 | 功光の長男 | 山崎東滝山八 |
| 〃 16 | 松浦由美子 | 幸雄の長女 | 大木戸霞原一 |
| 〃 19 | 石川栄子 | 幸平の二女 | 貝田中ノ町 |
| 〃 24 | 星野博幸 | 勝男の二男 | 光明寺滝沢一七 |
| | 遠藤和則 | 重蔵の長男 | 藤田南六六 |

## お悔み申し上げます

（五月中に亡くなられた方　敬称略す）

| 死亡日 | 氏名 | 年令 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 4、10 | 鈴木美枝子 | 41 | 貝田町裏一二 |
| 5、1 | 平塚寿次 | 70 | 小坂小坂一七 |
| 〃 1 | 佐藤ハツ | 82 | 森山西元木二七 |
| 〃 10 | 鴨田清次郎 | 73 | 内谷西三二 |
| 〃 13 | 五十嵐実 | 17 | 山崎舘東四 |
| 〃 17 | 内村芳雄 | 56 | 藤田滑沢一一五 |
| 〃 18 | 吉川兵治 | 76 | 髙城原一〇 |
| 〃 22 | 佐藤六之助 | 63 | 貝田寺脇一五 |
| 〃 24 | 田口勉 | 13 | 石母田弁天沢四一 |
| 〃 26 | 鈴木常七 | 73 | 川内沖二三 |
| 〃 31 | 本田ミシ | 74 | 徳江山神四二 |
| 〃 31 | 佐藤光助 | 78 | 森山西国見三〇 |

## …二十代の有権者よ頑張ろう…

第31回総選挙における年令層別投票率（自治省選挙局発表）

| | |
|---|---|
| 20～24才 | 65% |
| 25～29才 | 69 |
| 30～34才 | 76 |
| 35～39才 | 80 |
| 40～44才 | 81 |
| 45～49才 | 78 |
| 50～54才 | 80 |
| 55～59才 | 82 |
| 60～64才 | 79 |
| 65～69才 | 75 |
| 71才以上 | 57 |